



西藤島小だより



☆学校教育目標 「やってみよう」の西藤島

～主体的に考え、多様性を認め合い、チャレンジを続ける児童の育成～

☆めざす児童像「学ぶ子」「やさしい子」「強い子」

令和8年6月9日

第9号

福井市三郎丸1丁目1410 TEL (0776)22-8820 FAX (0776)22-6809

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/ni-fuji-e/> MAIL ni-fu-e@fukui-city.ed.jp

第1回 家庭・地域・学校協議会を開催

6月8日、2校時から3校時にかけて、今年度第1回の家庭・地域・学校協議会を開催しました。2校時は、各教室の授業の様子を参観していただきました。大休みは「にこにこタイム」で、全学年が縦割りグループごとに遊ぶ時間の様子を見ていただきました。その後、視聴覚室で、今年度の学校の概要・スクールプラン・行事予定等をお示ししながら、今年度重点的に取り組みたいこと等について意見交換をしました。

委員の皆様からは、次のようなご意見・ご感想をいただきました。

<授業中の様子・にこにこタイムの様子を参観して>

○子どもたちが楽しそうに、また進んで授業に取り組んでいる様子が分かり安心した。

○1年生から6年生までの教室の様子を見ると、6年間でどのように子どもたちが成長するのか、よく分かった。

○にこにこタイムでは、6年生がリーダーになり、先生がほとんど指示を出さなくても子どもたちで進めている様子が見られ、感心した。

<あいさつができる子><思いやりのある子>に育てていくために

○にこにこタイムのように異年齢集団での活動を続ける中で、思いやりの心が育てられるとよい。

○あいさつについては、子どもたちを見かけてこちらから声をかけると、たいていの子はあいさつを返してくれる。

○地域の中で、もっと大人の方から声をかけるようにしていきたい。

お忙しい中お越しいただき、貴重なご意見をいただきました委員の皆様、ありがとうございました。ご意見等を参考にしながら、今後の教育活動を進めていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



6月の児童朝礼（校長の話より）

6月5日に、児童朝礼を行いました。今回は「言葉のまほう」ということで話をしました。言葉は、私たち人間がもっている素敵な力です。その言葉は、よい使い方をすると、誰かを元気づけたりうれしいきもちにさせたりします。反対に、よくない使い方をすると、誰かを傷つけたり悲しませたりします。

先日、校長先生のところにうれしい言葉が届きました。一つは、「公園で鞆を拾った子どもたち（1年生と4年生）が、駐在所に届けてくれたおかげで、とても助かりました。ありがとう。」ということ。もう一つは、「毎朝、子どもたちが元気に登校する様子を見ていると、とても元気をもらえるんです。ありがとう。」ということ。どちらも「ありがとう」という言葉が入っていますが、私はこの「ありがとう」を聞いてとてもうれしくなり、ますます元気が出てきました。

「ありがとう」「がんばって」というようなプラスの言葉で、誰かの笑顔につながり、それがまた次のよい行いや言葉につながる、そしてまた笑顔が増える・・・そのような「幸せのサイクル」を回していけるといいですね。今年度の合い言葉「笑顔いっぱい！ わたしもあなたもしあわせ」な学校にしていけるために、「言葉のまほう」を一人一人が意識していきましょう。

太巻き寿司づくり交流会（3年生）

6月3日、地区社会福祉協議会主催の「太巻き寿司づくり交流会」が行われ、3年生が参加しました。子どもたちは、まず、地区にお住まいのご高齢の方々の手ほどきを受けながら、太巻き寿司づくりの体験をしました。

その後、歌のプレゼントをしたりインタビューをしたりしてふれあいました。「優しく教えてくれてうれしかった。」「歌を歌っているとき、うなずきながら聞いてくれてうれしかった。」「インタビューに答えてくれてありがとう。」と話していました。

今回の地域の人たちとの交流をきっかけに、これから、自分から進んであいさつをしたり話をしたりしながら、地域の人たちと仲良く交流する機会が増えることを願っています。

今回の交流会のためにご尽力くださった皆様、ありがとうございました。

